

● エピペン[®]の使い方

いざという時に正しくエピペン[®]を使用するためには、日頃からの練習が不可欠です。

トレーナーではなく本物であることを確認する

<本物> <トレーナー>



ラベル、ニードルカバーの違いを確認しましょう

◆ それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け
エピペン[®]を取り出す

② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを
下に向け、利き手で持つ
"グー"で握る！

③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す
利き手でない方の手で
安全キャップを外す

④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン[®]の先端(オレンジ色の部分)を軽くあて、「カチッ」と音がするまで強く押しあてそのまま5つ数える
注射した後すぐに抜かない！
押しつけたまま5つ数える！

⑤ 確認する



使用前 使用後
エピペン[®]を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する
伸びていない場合は「④に戻る」

⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、
マッサージする

図のように、足の付け根と膝の両方の関節を押さえることで、しっかり固定できるだけでなく、押さえている手を目印に正しい部位に投与することができる。

介助者がいる場合



介助者は、子どもの太ももの付け根と膝をしっかり押さえ、動かないように固定する

注射する部位

- 衣類の上から、打つことができる
- 太ももの外側の筋肉に注射する(真ん中(A)よりも外側で、かつ太ももの付け根と膝の間の部分)

あおむけの場合



座位の場合



※利き手で「グー」で握ったら持ち替えない!!

投与部位になにもないことを確認する

投与部位に重なってしまうポケットの中を確認しましょう

投与する前には、必ず子どもに声をかける

エピペン[®]は振り下ろさない

振り下ろしている瞬間に子どもが動いてしまい正しく打てないおそれがあるので、軽く押しあてた状態から、押しつけましょう

投与した薬剤が速やかに吸収され速く効果が現れるようにするために、投与部位をもみます。

※独立行政法人環境再生保全機構「ぜんそく予防のためのよくわかる食物アレルギー対応ガイドブック」(2017年10月)より引用

厚生労働省「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン(2019年改訂版)」

※ エピペン[®]は、最初から最後まで、「利き手(打つ方の手)でグー」握りが重要です。

起こりやすいミス：安全キャップを外した後、上下逆さに持ち替えてしまう

例えば右利きの人は、安全キャップを右手で取ろうとするため、エピペン[®]を左手で持つ。安全キャップを右手で外した後、今度は打つためにエピペン[®]本体を右手に持ち替える。この時に、上下逆さに持ち替えてしまう。